



一般社団法人 あおもり P G 推進協議会
プレスリリース
2019年7月19日

県内初！プロテオグリカンの機能性表示食品が届出受理
あおもり PG 推進協議会会員（株）マキュレが商品化



概要

一般社団法人あおもり PG 推進協議会の会員である株式会社マキュレ（青森市）では、「あおもり PG」を配合したサプリメント「AO+PG タブレット」を開発し、機能性表示食品（消費者庁食品表示企画課）制度に届出したところ、3月27日付けで受理されました。このサプリメントに配合したサケ鼻軟骨由来プロテオグリカンには、「膝関節の不快感を持つ方の軟骨成分の分解を抑え、関節軟骨の保護に役立ち、膝関節の可動性をサポートする」ことが報告されています。

この度、県内企業として初のプロテオグリカンの機能性表示食品として受理された「AO+PG タブレット」を7月24日に発売することとなりましたのでお知らせいたします。

1. 知事表敬

日時：令和元年7月19日10時20分～10時35分

場所：青森県庁知事室（2階）

内容：知事報告

参集範囲：報道機関

県庁連絡先：

表敬者：株式会社 マキュレ代表取締役（高橋 裕孝）

一般社団法人 あおもり PG 推進協議会事務局長（佐藤 雅秀）

地方独立行政法人 青森県産業技術センター弘前工業研究所長（千葉 昌彦）

電話番号：017-734-9420（担当：新産業創造課 今村）

2. 記者発表

日時：令和元年7月19日 知事表敬終了後

場所：青森県庁南棟2階ホール

内容：商品紹介、商品ディスプレイ、質疑応答

発表者：あおもり PG 推進協議会事務局長、マキュレ代表、弘前工業研究所所長

参集範囲：報道機関

※ 機能性表示食品とは

- 平成27年4月に新設された「機能性表示食品」制度により、事業者の責任により科学的根拠を基に商品パッケージに機能性を表示するものとして、消費者庁に届け出られた食品です。
- 他に機能性を表示することができる食品には、国が個別に許可した特定保健用食品（トクホ）と国の規格基準に適合した栄養機能食品があります。
- 安全性及び機能性の根拠に関する情報、健康被害の情報収集体制など必要な事項が、商品の販売前に、事業者より消費者庁長官に届け出られます。
- トクホとは異なり、国が安全性と機能性の審査を行ったものではありません。
- 届出情報は消費者庁のウェブサイトで公開され、消費者は正しい情報を得て商品を選択できます。
- 疾病に罹患していない方（未成年者、妊産婦（妊娠を計画している方を含む）及び授乳婦を除く）を対象にした食品で、生鮮食品を含め、すべての食品（一部除く）が対象となっています。

県内初！プロテオグリカンの機能性表示食品が届出受理

あおもり PG 推進協議会会員（株）マキュレが商品化

【商品概要】

商品名：AO+ PG TABLET（エーオープラスピージータブレット）

届出番号：D680

内容量：15g（250mg×60粒）

栄養成分表示（一日当たりの摂取目安量（2粒）当たり）

●エネルギー 2kcal ●たんぱく質 0.004g ●脂質 0.02g

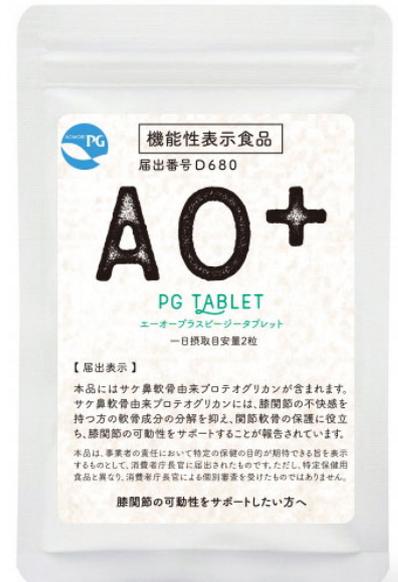
●炭水化物 0.5g ●食塩相当量 0.0003g

機能性関与成分：サケ鼻軟骨由来プロテオグリカン 10mg

※（一社）あおもり PG 推進協議会 認定商品

希望小売価格：3,800円（税別）

発売日・発売地区：2019年7月24日以降順次 全国



【商品の特長】

- 1日当たりの摂取目安量2粒（500mg）にサケ鼻軟骨由来プロテオグリカン10mgを配合したサプリメント形状の機能性表示食品です。
- 機能性関与成分のサケ鼻軟骨由来プロテオグリカンには、膝関節の不快感を持つ方の軟骨成分の分解を抑え、関節軟骨の保護に役立ち、膝関節の可動性をサポートすることが報告されています。
- 今回、プロテオグリカンの機能をより多くのお客さまにお伝えするため、機能性表示食品（届出番号：D680）としてリニューアル発売されます。マキュレ製品の中でサケ鼻軟骨由来プロテオグリカンが最も多く（一日当たりの摂取目安量10mg）配合されたサプリメントです。
- 届出表示：
本品にはサケ鼻軟骨由来プロテオグリカンが含まれます。サケ鼻軟骨由来プロテオグリカンは膝関節の不快感を持つ方の軟骨成分の分解を抑え、関節軟骨の保護に役立ち、膝関節の可動性をサポートすることが報告されています。
- ターゲット：膝関節の不快感が気になる健全な成人
- 従来品と同じく、無味無臭で、どなたでも飲みやすくするために8mmφの小粒打錠としています。

【マキュレ会社概要】

- 社名：株式会社マキュレ
- 代表者：代表取締役 高橋 裕孝
- 設立記念日：2008年3月11日
- 資本金：600万円
- 所在地：
 - ・本社／工場・energy 製品配送デリバリー倉庫（青森市第二間屋町）
 - ・Photo Science Laboratory：撮影スタジオ研究所（青森市三好）
 - ・ecRobotics センター（青森県青森市三内丸山）
 - ・東京オフィス（千代田区神田）
 - ・ベトナムダナンラボ（An Hai Bac ward, Vietnam）

県内初！プロテオグリカンの機能性表示食品が届出受理 あおもり PG 推進協議会会員（株）マキュレが商品化

- 事業内容：・食品製造販売事
- ・通信販売事業
- ・オンラインショップサポート事業
- ・未来型撮影スタジオ事業
- ・web コンテンツ制作事業

【マキュレ企業理念】

- 私たちは未来のために、いまの常識にとらわれない柔軟な発想でモノ、コトを生み育てることに執念を持ち挑戦します。
- 私たちはお客様のために、創業以来の伝統である「アンサンブル・ヒーロー」の心を大切にし、下支えする役割に誇りを持ち「スピード」「クオリティ」「コスト」の追求に徹します。
- 私たちは人や家族や社会のために、思いやりと感謝の心を何よりも大切にし、公正かつ誠実な対応で人に優しい社会、人に寄り添う社会の創出をはかります。

【マキュレお問い合わせ】

株式会社マキュレ

青森県青森市第二問屋町4丁目1-7

TEL 017-752-0478

代表取締役：高橋 裕孝

青森県発！美容健康素材「プロテオグリカン」

● プロテオグリカンは「青森ライフイノベーション戦略セカンドステージ(プロダクト分野)」の柱

青森県では、次世代を見据えた本県経済のさらなる成長促進をめざし、平成28年に「青森ライフイノベーション戦略セカンドステージ」を策定し、医療・健康・福祉といったライフ関連分野における産業振興に取り組んでいます。

本戦略における重点分野の一つである「プロダクト分野」では、「プロテオグリカン等の機能性素材を核とした研究開発の一層の推進・関連商品の販路拡大」を柱とし、関連産業の振興を図るため、県内の産学官金の各機関が適切な役割分担の下、様々な取組を行っています。

● かつては夢の成分だったプロテオグリカン

かつて1g3,000万円とあまりにも高価で夢の成分だったプロテオグリカン。平成12年に弘前大学が安全・安心・低コストの抽出技術を開発し、従来困難だった量産化が可能に。研究が加速化し、また、原材料供給も本格化。市場拡大が続いています。現在も弘前大学や（地独）青森県産業技術センターにおいて、新たな効能や産業での応用化等に関する研究がすすめられています。

● 今年度の青森県の取組

青森発の美容健康素材であるプロテオグリカン。今年度、県ではこれまでの取組に加え、商品開発からプロモーション展開まで、県内企業の抱える課題や事業の進捗に合わせた分野別の相談対応の体制を整えるほか、近年増加傾向にあるインバウンドへの対応も含めた海外市場へのプロテオグリカンの認知度向上のための情報発信等に取り組みます。

関係者紹介

【青森産技 弘前工業研究所】

弘前工業研究所（所長千葉昌彦）は、大正 11 年に青森県工業試験場として発足し、平成 21 年には（地独）青森県産業技術センター弘前地域研究所、平成 30 年には（地独）青森県産業技術センター弘前工業研究所に変更になり、今年で 97 年の歴史ある研究所です。現在は、青森県の資源を活用した食品や美容製品の開発、バイオテクノロジー技術の利用研究、伝統工芸の試作や工業デザインの支援、技術相談、依頼試験等を通じ、企業の活動を支援している工業系の研究機関です。

プロテオグリカンについては、機能性や分析方法に関する研究と共に、人材育成や技術支援を通じて県内事業者による機能性表示食品や美容製品の開発を支援してきました。

「支援内容」

機能性表示食品に関する研修会を開催（平成 27 年度～30 年度）、届出制度の周知、機能性表示食品の開発動向に関する情報提供、届出書類の作成や届出データベース利用方法の指導、人材育成、技術支援。プロテオグリカンの分析。素材メーカーの一丸ファルコス株式会社と連携して株式会社マキユレの機能性表示食品「A0+ PG TABLET（エーオープラス ピージータブレット）」の商品化を支援。

住所：青森県弘前市扇町 1-1-8

電話：0172-55-6740

ファックス：0172-55-6745

担当者メール：tomoko_akada@aomori-itc.or.jp（赤田）

【一般社団法人あおもり PG 推進協議会】

一般社団法人あおもり PG 推進協議会（会長 榎引利貞）は、「プロテオグリカン（PG）に関して消費者に正しい情報を提供する」「あおもり PG の認知度向上を図る」「安全・安心な PG 商品を認証する」の 3 つを主な目標に掲げて活動し、「あおもり PG」を配合した商品の認証とブランドマークの使用を許可しています。



- 平成 23 年設立の「青森県プロテオグリカンブランド推進協議会」を前身に、平成 28 年 7 月に法人化されて現団体の一般社団法人あおもり PG 推進協議会となりました。
- 県内を中心に会員数 95（令和元年 4 月 1 日現在）
- 化粧品や健康食品など認証商品 166 個（令和元年 4 月 1 日現在）
- プロテオグリカン（PG）とは：タンパク質と多くの糖質が結合した複合タンパク質の一種。動物軟骨の主成分で、コラーゲン、ヒアルロン酸に並ぶ第三の機能性成分として注目されています。
- あおもり PG とは：弘前大学が開発した技術により抽出されたプロテオグリカンのことで、原材料は青森県の郷土料理「氷頭なます」と同じサケの鼻軟骨です。

住所：青森県弘前市扇町 1-1-8（青森県産業技術センター弘前工業研究所内）

電話：0172-55-5966

ファックス：0172-55-5967

事務局メール：pginfo@aomori-pg.org